改正後

別表第４　施工管理記録様式

目　　次

様　式	名		称
	（出来形管理関係）		
［略］	［略］		
	［削る。］		
［削る。］	［削る。］		［削る。］
［削る。］	［削る。］	［削る。］	［削る。］
［削る。］	［削る。］	［削る。］	［削る。］
［削る。］	［削る。］		［削る。］
［削る。］	［削る。］		［削る。］
［削る。］	［削る。］		［削る。］
［削る。］	［削る。］		［削る。］
［削る。］	［削る。］		［削る。］
［削る。］	［削る。］		［削る。］
［削る。］	［削る。］	［削る。］	［削る。］

現行

別表第４　施工管理記録様式

目　　次

様　式	名		称
	（出来形管理関係）		
［略］	［略］		
	（コンクリート関係）		
5	セメントの密度試験		(JIS R 5201)
6－1	セメントの粉末度試験	（比表面積試験）	(JIS R 5201)
6－2	セメントの粉末度試験	（網ふるい試験）	(JIS R 5201)
7	セメントの凝結試験		(JIS R 5201)
8	セメントの安定性試験		(JIS R 5201)
9	セメントの強さ試験		(JIS R 5201)
１０	細骨材の密度および吸水率試験		(JIS A 1109)
１１	粗骨材の密度および吸水率試験		(JIS A 1110)
１２	細骨材の表面水率試験		(JIS A 1111)
１３－１	骨材のふるい分け試験	（細骨材）	(JIS A 1102)

改正後

様式	名称		
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]		
[削る。]	[削る。]		[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]		[削る。]
[削る。]	[削る。]		[削る。]
[削る。]	[削る。]		[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]		[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]		[削る。] [削る。]
	[削る。]		
[削る。]	[削る。]		[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]		[削る。]
[削る。]	[削る。]		[削る。]
[削る。]	[削る。]		[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]		[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]		[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]		[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]		[削る。]
[削る。]	[削る。]		[削る。]
[削る。]	[削る。]		[削る。]

現行

様式	名称		
１３－２	骨材のふるい分け試験	（粗骨材）	(JIS A 1102)
１４	骨材試験成績一覧表		
１５	コンクリートのスランプ試験およびフレッシュコンクリートの空気量の圧力による試験(空気室圧力方法)		(JIS A 1101) (JIS A 1128)
１６	コンクリートの圧縮強度試験		(JIS A 1108)
１７	コンクリートの曲げ強度試験		(JIS A 1106)
１８	フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験		(JIS A 5308) (JIS A 1144)
１９	骨材のアルカリシリカ反応性試験	（化学法）	(JIS A 5308) (JIS A 1145)
２０	骨材のアルカリシリカ反応性試験	（モルタルバー法）	(JIS A 5308) (JIS A 1146)
２１	鉄筋の曲げ試験		(JIS G 3112) (JIS Z 2248)
２２	鉄筋の引張試験		(JIS G 3112) (JIS Z 2241)
	（土質関係）		
２３	土の含水比試験		(JIS A 1203) (JGS 0121)
２４－１	砂置換法による土の密度試験（較正）		(JIS A 1214)
２４－２	砂置換法による土の密度試験（測定）		(JIS A 1214)
２５	土の収縮定数試験		(JIS A 1209) (JGS 0145)
２６－１	ＣＢＲ試験	（初期状態、吸水膨張試験）	(JIS A 1211) (JGS 0721)
２６－２	ＣＢＲ試験	（貫入試験）	(JIS A 1211) (JGS 0721)
２６－３	ＣＢＲ試験	（室内試験結果）	(JIS A 1211) (JGS 0721)
２７	修正ＣＢＲ試験		
２８	現場ＣＢＲ試験		(JIS A 1222)
２９	道路の平板載荷試験		(JIS A 1215)
３０	土の直接せん断試験		

改 正 後

様 式	名	称
[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。] [削る。]
[削る。]	[削る。]	[削る。] [削る。]
	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	

現 行

様 式	名	称
31	ポータブルコーン貫入試験	(JGS 1431)
32	締固めた土のコーン指数試験	(JIS A 1228) (JGS 0716)
33－1	土の一軸圧縮試験　(初期状態、軸圧縮過程)	(JIS A 1216) (JGS 0511)
33－2	土の一軸圧縮試験　(強度・変形特性)	(JIS A 1216) (JGS 0511)
34－1	土の液性限界・塑性限界試験　(測定)	(JIS A 1205) (JGS 0141)
34－2	土の液性限界・塑性限界試験　(試験結果)	(JIS A 1205) (JGS 0141)
35	土粒子の密度試験　(検定、測定)	(JIS A 1202) (JGS 0111)
36－1	土の粒度試験　(ふるい分析)	(JIS A 1204) (JGS 0131)
36－2	土の粒度試験　(2mmふるい通過分分析)	(JIS A 1204) (JGS 0131)
36－3	土の粒度試験　(粒径加積曲線)	(JIS A 1204) (JGS 0131)
37－1	突固めによる土の締固め試験　(測定)	(JIS A 1210) (JGS 0711)
37－2	突固めによる土の締固め試験　(締固め特性)	(JIS A 1210) (JGS 0711)
	(アスファルト関係)	
38	アスファルト試験成績一覧表	
39	アスファルトの粘度温度表	
40	粗骨材試験成績一覧表　(砕石)	
41	細骨材試験成績一覧表　(砂)	
42	石粉及びスクリーニングス試験成績一覧表	
43	骨材粒度曲線表　(アスファルト)	
44	合材粒度ふるい分け試験及び配合比決定例	
45	骨材の推定変動範囲　(細骨材及びスクリーニングス)	
46	骨材配合率の密度補正	

改 正 後

様 式	名	称
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	
[削る。]	[削る。]	[削る。]
[削る。]	[削る。]	
	（品質管理関係）	
[略]	[略]	

現 行

様 式	名	称
４７	骨材配合率及び合成粒度	（室内試験）
４８	合成粒度曲線	（室内試験）
４９	試験配合表	（アスファルト量別）
５０－１	アスファルト混合物の安定度試験	（マーシャル式・理論最大密度）
５０－２	アスファルト混合物の安定度試験	（マーシャル式）
５１	試験結果図表	
５２	マーシャル試験による基準アスファルト量	
５３	フィーダ、ホットビン、ミキサーの骨材の粒度試験	
５４	粗骨材のすりへり試験	（JIS A 1121）
５５	アスファルトの抽出試験	
５６	路面の平坦性試験表	（標準偏差）
５７	ブルーフローリング試験	
	（品質管理関係）	
[略]	[略]	

改 正 後

（出来形管理関係）

様式１　［略］

様式２－１　［略］

出 来 形 管 理 図 表

工 事 名　　受注者会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

管理基準値 A		規格値 B		測定単位
＋	－	＋	－	

番号	月 日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差 E＝D－C	管理基準値との差 F＝|A|-|E|	設計値との差
							測定箇所図

記入事項
１．「工種名」は、掘削（基準高（Ｖ））、フルーム（厚さ（Ｔ））、橋台工（中心線のズレ（e））等と記入する。
２．「番号」の欄は、施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を記入する。
３．「月日」の欄は測定年月日を記入する。
４．設計値との差の単位を定め、目盛りに数値を記入する。
５．Ｆを算出する|Ａ|値は、Ｅ＞０の場合は＋側の値を、Ｅ≦０の場合は－側の値を用いる。また、|Ａ|値が＋側か－側の片方、若しくは両方にない場合は、その符号側はＦ＝「－」とする。

現 行

（出来形管理関係）

様式１　［略］

様式２－１　［略］

出 来 形 管 理 図 表

工 事 名　　受注者会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

管理基準値 A		規格値 B		測定単位
＋	－	＋	－	

番号	月 日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差 E＝D－C	管理基準値との差 F＝|A|-|E|	設計値との差
							測定箇所図

記入事項
１．「工種名」は、掘削（基準高（Ｖ））、フルーム（厚さ（Ｔ））、橋台工（中心線のズレ（e））等と記入する。
２．「番号」の欄は、施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を記入する。
３．「月日」の欄は測定年月日を記入する。
４．設計値との差の単位を定め、目盛りに数値を記入する。
５．Ｆを算出する|Ａ|値は、Ｅ＞０の場合は＋側の値を、Ｅ≦０の場合は－側の値を用いる。また、|Ａ|値が＋側か－側の片方、若しくは両方にない場合は、その符号側はＦ＝|Ｅ|とする。

改 正 後

様式２－２　［略］

様式３－１　［略］

測 定 結 果 一 覧 表

工 事 名　　受注者会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

管理基準値 A		規格値 B		測定単位
＋	－	＋	－	

管理基準値 A		規格値 B		測定単位
＋	－			

番号	月 日	測点	設計値 C	実測値 D	［略］	［略］

番号	月 日	測点	設計値 C	実測値 D	［略］	［略］

1.「工種名」は、掘削(基準高(Ｖ))、フルーム(厚さ(Ｔ))、橋台工(中心線のズレ(e))等と記入する。

2.「番号」の欄は、施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を記入する。

3.「月日」の欄は測定年月日を記入する。

4. Ｆを算出する|Ａ|値は、Ｅ＞０の場合は＋側の値を、Ｅ≦０の場合は－側の値を用いる。また、|Ａ|値が＋側か－側の片方、若しくは両方にない場合は、その符号側はＦ＝「－」とする。

様式３－２　～　様式４　［略］

現 行

様式２－２　［略］

様式３－１　［略］

測 定 結 果 一 覧 表

工 事 名　　受注者会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

管理基準値 A		規格値 B		測定単位
＋	－	＋	－	

管理基準値 A		規格値 B		測定単位
＋	－			

番号	月 日	測点	設計値 C	実測値 D	［略］	［略］

番号	月 日	測点	設計値 C	実測値 D	［略］	［略］

1.「工種名」は、掘削(基準高(Ｖ))、フルーム(厚さ(Ｔ))、橋台工(中心線のズレ(e))等と記入する。

2.「番号」の欄は、施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を記入する。

3.「月日」の欄は測定年月日を記入する。

4. Ｆを算出する|Ａ|値は、Ｅ＞０の場合は＋側の値を、Ｅ≦０の場合は－側の値を用いる。また、|Ａ|値が＋側か－側の片方、若しくは両方にない場合は、その符号側はＦ＝|Ｅ|とする。

様式３－２　～　様式４　［略］

改 正 後	現 行
（コンクリート関係） ［削る］	（コンクリート関係） 様式 5 セ メ ン ト の 密 度 試 験 （JIS R 5201） 工 事 名　　受注会社名 工 種 名　　測 定 者　　印

試 験 日	平成　年　月　日　曜　天候		
試験日の状態	室 温（ ℃ ）	湿 度（ % ）	水 温（ ℃ ）
試 料			

測 定 番 号	1	2	3	4
① フラスコの番号				
② 初めの鉱油の読み（mℓ）				
③ 試料の質量（g）				
④ 試料と鉱油の読み（mℓ）				
⑤ 密度 $\frac{③}{④ - ②}$				
⑥ 許容差				
⑦ 平均値				

考 察

改 正 後	現 行
［削る］	様式 6－1 セメント粉末度試験（比表面積試験） （JIS R 5201） 工 事 名　　受注会社名 工 種 名　　測 定 者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候			
試験日の状態	室 温（℃）		湿 度（％）	
試 料				
①セルと水銀との質量 (g)				
②セルの質量 (g)				
③水銀の質量 ①－② (g)				
④（セル）＋（セメント）＋（水銀）の質量 (g)				
⑤（セル）＋（セメント）の質量 (g)				
⑥水銀の質量 ④－⑤ (g)				
⑦水銀の密度 (g/cm³)				
⑧ペットの体積 $\frac{③－⑥}{⑦}$ (cm³)				
⑨平均値				
測定番号	1	2	3	4
試料の質量 (g)				
標準試料降下時間 t_0 (s)				
標準試料比表面積 (cm²/g)				
セメント降下時間 t (s)				
セメント比表面積 (cm²/g)				
許容差				
平均値				
考 察				

改 正 後	現 行
［削る］	様式 6－2 セメント粉末度試験（網ふるい試験） （JIS R 5201） 工 事 名　　受注会社名 工 種 名　　測 定 者　　印 試験日：平成　年　月　日　曜　天候 試験日の状態：室 温（℃）　湿 度（％） 試料 測定番号：1　2　3　4 ① 試料の質量（g） ② 残留質量（g） ③ 粉末度 $\frac{②}{①}\times 100$（%） ④ 平均値（%） 考 察

改 正 後	現 行
［削る］	様式 7

セメントの凝結試験
（JIS R 5201）

工事名　　受注会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候		
試験日の状態	室内の温度（℃）	室内の湿度（%）	水温（℃）
	湿気箱内の温度（℃）	湿気箱内の湿度（%）	
試料			

測定番号	1	2	3	4
試料の質量（g）				
水の量（mℓ）				
注水時刻（h・min）				
始発時刻（h・min）				
始発時間（min）				
終結時刻（h・min）				
終結時間（h）				

考察

改 正 後	現 行
［削る］	様式 8 セメントの安定性試験 （JIS R 5201） 工事名　　受注会社名 工種名　　測定者　　印 試験日　平成　年　月　日　曜　天候 試験日の状態　室温（℃）　湿度（%）　水温（℃） 養生温度（℃） 試料 測定番号　1　2　3　4 試料の質量（g） 水の量（mℓ） ひび割れ・反りの有無 試験結果 考察

改 正 後	現 行
［削る］	様式 9 セメントの強さ試験 （JIS R 5201） 工事名　　受注会社名 工種名　　測定者　　印

試験日			平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
試験日の状態	室温 (℃)					
	湿度 (%)					
養生温度 (℃)						
材齢 (日)						
供試体質量 (g)（脱型直後）		1				
		2				
		3				
供試体質量 (g)（強さ試験直前）		1				
		2				
		3				
曲げ試験	最大荷重 (N)	1				
		2				
		3				
	曲げ強さ (N/mm²)	1				
		2				
		3				
	平均値 (N/mm²)					
圧縮試験	最大荷重 (N)	1				
		2				
		3				
		4				
		5				
		6				
	圧縮強さ (N/mm²)	1				
		2				
		3				
		4				
		5				
		6				
	平均値 (N/mm²)					
供試体作製日 ： 平成 年 月 日						

改 正 後	現 行
［削る］	様式 10 細骨材の密度および吸水率試験 （JIS A 1109）

工 事 名　　受注会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候			
試験日の状態	室 温（℃）	湿 度（％）	水 温（℃）	乾燥温度（℃）
試 料				

測定番号	1	2	3	4
① ピクノメーターの番号				
② 500mℓの目盛りまで水を満たしたピクノメータの質量 m_1 (g)				
③ 試料の質量 m_2 (g)				
④ 試料と水で500mℓの目盛りまで満たしたピクノメーターの質量 m_3 (g)				
⑤ 密度 $\frac{③\times\rho_w}{②+③-④}$ (g/cm³)				
⑥ 平均値				
⑦ 平均値との差				
⑧ 試料の質量 m_4 (g)				
⑨ 試料の乾燥質量 m_5 (g)				
⑩ 吸水率 $\frac{⑧-⑨}{⑨}\times100$ (%)				
⑪ 平均値 (%)				
⑫ 平均値との差 (%)				

考 察

試験温度における水の密度 ρw= g/cm³

改 正 後	現 行
［削る］	様式 11 粗骨材の密度および吸水率試験 （JIS A 1110）

工 事 名　　受注会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候			
試験日の状態	室 温（℃）	湿 度（%）	水 温（℃）	乾燥温度（℃）
試 料				

測定番号	1	2	3	4
① 試料の質量 m_1 (g)				
② 水中のかごと試料の見掛けの質量 m_2 (g)				
③ 水中のかごの見掛けの質量 m_3 (g)				
④ 水中の試料の見掛けの質量 (m_2-m_3) (g)				
⑤ 密度 $\frac{①\times\rho_w}{①-④}$ (g/cm³)				
⑥ 平均値				
⑦ 平均値との差				
⑧ 乾燥後の試料の質量 m_4 (g)				
⑨ 吸水率 $\frac{①-⑧}{⑧}\times100$ (%)				
⑩ 平均値 (%)				
⑪ 平均値との差 (%)				

考 察

試験温度における水の密度 $\rho w=$ g/cm³

改 正 後	現 行
［削る］	様式 12 細骨材の表面水率試験 （JIS A 1111） 工事名　　受注会社名 工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候		
試験日の状態	室温（℃）	湿度（％）	水温（℃）
試料	d_s：試料の表面乾燥密度＝　g/cm³		

測定番号	1	2	3	4
① 試料の質量　m_1　(g)				
② （フラスコ）＋（マークまでの水）の質量　m_2　(g)				
③ （フラスコ）＋（マークまでの水）＋（試料）の質量　m_3　(g)				
④ m＝①＋②－③　(g)				
⑤ $ms = \frac{①}{d_s}$				
⑥ 表面水率　$H = \frac{④-⑤}{①-④} \times 100$　(%)				
⑦ 平均値　(%)				
⑧ 平均値との差　(%)				
⑨ 試料を覆う水量　V_1　(mℓ)				
⑩ （試料）＋（水）の容積　V_2　(mℓ)				
⑪ V＝⑩－⑨　(g)				
⑫ 表面水率＝　$H = \frac{⑪-⑤}{①-⑪} \times 100$　(%)				
⑬ 平均値　(%)				
⑭ 平均値との差　(%)				

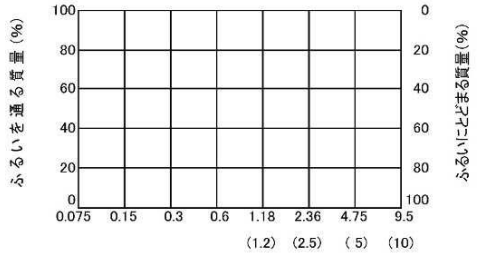
考察

改 正 後	現 行
［削る］	様式 13－1

骨材のふるい分け試験（細骨材）
（JIS A 1102）

工事名　　受注会社名
工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候				
試験日の状態	室温（℃）		湿度（％）		
試料					
ふるいの呼び寸法（mm）	各ふるいにとどまる質量の累計		各ふるいにとどまる質量		ふるいを通る質量
	(g)	(%)	(g)	(%)	(%)
9.5（10）					
4.75（5）					
2.36（2.5）					
1.18（1.2）					
0.6					
0.3					
0.15					
0.075					
受皿					
計					
粗粒率					



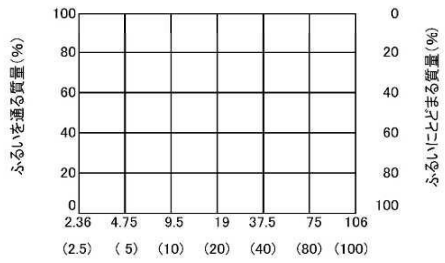
ふるいの呼び寸法（mm）、※（ ）は従来の呼び寸法

ふるい分け曲線

考　察

改 正 後	現 行
［削る］	様式 13－2 骨材のふるい分け試験（粗骨材） （JIS A 1102） 工 事 名　　受注会社名 工 種 名　　測 定 者　　印

試　験　日	平成　年　月　日　曜　天候				
試験日の状態	室　温（℃）		湿　度（％）		
試　　料					
ふるいの呼び寸法（mm）	各ふるいにとどまる質量の累計		各ふるいにとどまる質量		ふるいを通る質量
	（g）	（％）	（g）	（％）	（％）
最 大 寸 法（mm）			粗　粒　率		



ふるいの呼び寸法（mm）、※（）は従来の呼び寸法

ふるい分け曲線

考　察

改正後	現行
［削る］	様式 14 骨材試験成績一覧表 工事名　　受注会社名 工種名　　測定者　　印

試料採取地名										
試験日										
ふるい分け	粗骨材	150㎜以上通過質量百分率 %								
		150 ～ 100 〃								
		100 ～ 80 〃								
		80 ～ 60 〃								
		60 ～ 50 〃								
		50 ～ 40 〃								
		40 ～ 30 〃								
		30 ～ 25 〃								
		25 ～ 20 〃								
		20 ～ 15 〃								
		15 ～ 10 〃								
		10 ～ 5 〃								
		5以下 〃								
		粗粒率								
	細骨材	5㎜以上通過質量百分率 %								
		5 ～ 2.5 〃								
		2.5 ～ 1.2 〃								
		1.2 ～ 0.6 〃								
		0.6 ～ 0.3 〃								
		0.3 ～ 0.15 〃								
		0.15以下 〃								
		粗粒率								
細骨材	密度									
	単位容積質量（標準） kg/㎥									
	単位容積質量（軽装） kg/㎥									
	安定性 %									
	吸水量 %									
	洗い試験 %									
粗骨材	密度									
	単位容積質量（標準） kg/㎥									
	単位容積質量（軽装） kg/㎥									
	安定性 %									
	吸水量 %									
	すりへり減量 %									
	洗い試験 %									
	軟石量試験 %									
	細長扁平試験 %									
備考										

改 正 後	現 行
［削る］	様式 15 コンクリートのスランプ試験およびフレッシュコンクリートの 空気量の圧力による試験（空気室圧力方式） （JIS A 1101、JIS A 1128） 工 事 名　　受注会社名 工 種 名　　測 定 者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候		
試験日の状態	室 温（℃）	湿 度（％）	水 温（℃）
試 料			

示方配合	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 s/a (%)	単位量(kg/m³) 水 W	セメント C	混和材 F	細骨材 S	粗骨材G mm～mm	粗骨材G mm～mm	混和剤 (g/m³)

測定番号	1	2	3
① スランプ (cm)			
② 突き棒でコンクリートの側面をたたいたときの状態			
③ 見掛けの空気量 (%)			
④ 骨材修正係数 (%)			
⑤ 空気量 ③－④ (%)			
⑥ コンクリートの温度 (℃)			

考 察

改 正 後	現 行
［削る］	様式 16

コンクリートの圧縮強度試験
(JIS A 1108)

工事名　　受注会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候											
試験日の状態	室温（℃）			湿度（%）			水温（℃）					
試料												
示方配合	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 s/a (%)	単位量 (kg/m³) 水 W	セメント C	混和材 F	細骨材 S	粗骨材G mm～mm	粗骨材G mm～mm	混和剤 (g/m³)
材齢（日）												
養生方法						養生温度（℃）						
供試体番号	1			2			3			4		
平均直径 (mm)												
断面積 (mm²)												
平均高さ (mm)												
スランプ (cm)												
質量 (kg)												
最大荷重 (N)												
圧縮強度 (N/mm²)												
平均圧縮強度 (N/mm²)												
見掛け密度 (kg/m³)												
平均見掛け密度 (kg/m³)												
供試体の破壊状況のスケッチ												

考察

改 正 後	現 行
［削る］	様式 17

コンクリートの曲げ強度試験
（JIS A 1106）

工事名　　受注会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候											
試験日の状態	室温（℃）			湿度（％）				水温（℃）				
試料												
示方配合	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 s/a (%)	単位量 (kg/m³) 水 W	セメント C	混和材 F	細骨材 S	粗骨材G mm～mm	粗骨材G mm～mm	混和剤 (g/m³)
材齢（日）												
養生方法						養生温度（℃）						
供試体番号	1			2		3			4			
平均幅 (mm)												
平均高さ (mm)												
スパン (mm)												
最大荷重 (N)												
曲げ強度 (N/mm²)												
平均曲げ強度 (N/mm²)												
破壊断面とこれに近い支点との距離 (mm)												
供試体の破壊状況のスケッチ												

考察

改正後

［削る］

現行

様式 18

フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験
(JIS A 5308、JIS A 1144)

工事名　　受注会社名
工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日					天候						
試料	採取方法											
	保管方法											
示方配合	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプの範囲(cm)	空気量の範囲(%)	水セメント比(%)	細骨材率(%)	単位容積質量(kg/m³)						
						水	セメント	細骨材	粗骨材		混和材料	
									～ mm	～ mm		
測定内容	分析方法											
	測定器名及び指示薬											
測定回数	1		2		3	平均						
塩化物イオン濃度(%)												
塩化物量(kg/m³)						判定基準			測定場所			
						＿＿＿＿以下			現場		工場	

改 正 後	現 行
［削る］	様式 19 骨材のアルカリシリカ反応性試験（化学法） （JIS A 5308、JIS A 1145） 工事名 工種名 受注会社名 測定者　　印 試験　平成　年　月　日 骨材の種類 / 骨材の産地 / 繰返し / 試料量 (g) / 反応時間 (hr) / アルカリ濃度減少量(Rc) (mmol/ℓ) V_1 (mℓ) / V_2 (mℓ) / V_3 (mℓ) / Rc / 平均値 / 溶解シリカ量(Sc) (mmol/ℓ) 吸光光度法 V (mℓ) / C (mg/ℓ) / Sc / 平均値 / 質量法 W (g) / Sc / 平均値 / 原子吸光光度法 C (mg/ℓ) / Sc / 平均値 / 有害度の判定 1 2 3 1 2 3 1 2 3 備考

改 正 後	現 行
［削る］	様式 20 骨材のアルカリシリカ反応性試験（モルタルバー法） （JIS A 5308、JIS A 1146） 工事名　　受注会社名 工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候			
試験日の状態	気温（℃）	室温（℃）	容器内温度（℃）	容器内湿度（％）
セメント	種別		全アルカリ	
骨材	産地		種別	

区分 ＼ 材齢		脱型時	2週間	4週間	8週間	3ヶ月	6ヶ月
① 基長L（有効ゲージ長）（×10^{-3}mm）	1						
	2						
	3						
② 供試体脱型時のダイヤルゲージの読み Xini（×10^{-3}mm）	1						
	2						
	3						
③ 同時測定した標準尺のダイヤルゲージの読み sXini（×10^{-3}mm）	1						
	2						
	3						
④ 材齢iにおける供試体のダイヤルゲージの読み Xi（×10^{-3}mm）	1						
	2						
	3						
⑤ 材齢iにおける標準尺のダイヤルゲージの読み sXi（×10^{-3}mm）	1						
	2						
	3						
⑥ 膨張率（％） $\frac{((④-⑤)-(②-③))}{L}\times 100$	1						
	2						
	3						
	平均						
判定							
精度							

考察

改 正 後	現 行
［削る］	様式 21 鉄 筋 の 曲 げ 試 験 （JIS G 3112、JIS Z 2248） 工 事 名　　受注会社名 工 種 名　　測 定 者　　印

試 験 日	平成　年　月　日　曜　天候			
試験日の状態	気 温（℃）		室 温（℃）	
試 料				
試 料 番 号				
呼 び 径（mm）				
実 測 径（mm）				
種 別				
記 号				
曲 げ 角 度（度）				
内 側 半 径（mm）				
判 定				
考 察				

改 正 後	現 行
［削る］	様式 22 鉄 筋 の 引 張 試 験 （JIS G 3112、JIS Z 2241）

工 事 名　　受注会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試 験 日	平成　年　月　日　曜　天候									
試験日の状態	気 温（℃）				室 温（℃）					
試 料										
試 料 番 号										
呼 び 径 (mm)										
実 測 径 (mm)	最大径									
	最小径									
	平 均									
断 面 積 (mm²)										
種 別										
記 号										
標 点 距 離 (mm)										
降 伏 点 荷 重 (N)										
降 伏 点 (N/mm²)										
引 張 荷 重 (N)										
引 張 強 さ (N/mm²)										
伸 び	(mm)									
	(%)									
切断位置による記号										
試 験 片										
判 定										

考 察

改 正 後	現 行
（土質関係） ［削る］	（土質関係） 様式 23 土 の 含 水 比 試 験 （JIS A 1203、JGS0121）

工 事 名　　試験日　平成　年　月　日　　受注会社名

工 種 名　　試料採取地点　　測 定 者　　印

試料番号(深さ)						
容器 NO.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特 記 事 項						
試料番号(深さ)						
容器 NO.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特 記 事 項						
試料番号(深さ)						
容器 NO.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特 記 事 項						
試料番号(深さ)						
容器 NO.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特 記 事 項						
試料番号(深さ)						
容器 NO.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特 記 事 項						

$$w=\frac{m_a-m_b}{m_b-m_c}\times 100$$

m_a ： （試料＋容器）質量
m_b ： （炉乾燥試料＋容器）質量
m_c ： 容器質量

（社）地盤工学会規格準用

改 正 後	現 行
［削る］	様式 24－1

砂置換法による土の密度試験（較正）
（JIS A 1214）

工事名　　受注会社名　　試験日　平成　年　月　日

工種名　　測定者　　印

Ⅰ．ジャーとピクノメータートップとの体積の較正

測定 NO.			1	2	3	4	5
ジャーとピクノメータートップに水を満たした質量	m_2	g					
測定器の質量	m_1	g					
満たした水の質量	m_2-m_1	g					
測定器中の水の温度	t	℃					
t℃における水1g当たりの体積	K	cm³/g					
ジャーとピクノメータートップとの体積	$V_1=K(m_2-m_1)$	cm³					
平均値	V_1	cm³					

Ⅱ．試験用砂の乾燥密度の較正

測定 NO.			1	2	3	4	5
ジャーとピクノメータートップに砂を満たした質量	m_3	g					
測定器の質量	m_1	g					
測定器中の砂の質量	$m_4=m_3-m_1$	g					
試験用砂の乾燥密度	$\rho_{ds}=m_4/V_1$	g/cm³					
平均値	ρ_{ds}	g/cm³					

Ⅲ．漏斗を満たすのに必要な砂の質量の較正

測定 NO.			1	2	3	4	5
測定器と入れた砂の質量	m_3'	g					
漏斗を満たした砂を除き測定器と残った砂の質量	m_5	g					
漏斗を満たすのに必要な砂の質量	$m_6=m_3'-m_5$	g					
平均値	m_6	g					

特記事項

（社）地盤工学会規格準用

改 正 後	現 行
［削る］	様式 24－2

砂置換法による土の密度試験（測定）
（JIS A 1214）

工事名　　受注会社名　　試験日　平成　年　月　日

工種名　　測定者　　印

測定器 NO.			土質名称		
試験用砂の乾燥密度	ρ_{ds}	g/cm³	漏斗を満たすのに必要な砂の質量m_8g		
試験孔 NO.					
最大粒径		mm			
容器 NO.					
容器質量		g			
（試験孔から取り出した土＋容器）質量		g			
試験孔から取り出した湿潤土の質量	m_7	g			
試験孔から取り出した土の炉乾燥質量	$m_6=100m_7/(w+100)$	g			
ジャーとピクノメータートップに砂を満たした質量	m_3	g			
測定器と残った砂の質量	m_8	g			
試験孔および漏斗に入った砂の質量	$m_9=m_3-m_8$	g			
試験孔を満たすのに要する砂の質量	$m_{10}=m_9-m_6$	g			
試験孔の体積	$Vo=m_{10}/\rho_{ds}$	cm³			
湿潤密度	$\rho_t=m_7/Vo$	g/cm³			
乾燥密度	$\rho_d=m_6/Vo$	g/cm³			
含水比	容器 NO.				
	（試料＋容器）質量 m_a	g			
	（炉乾燥試料＋容器）質量 m_b	g			
	容器質量 m_c	g			
	w	%			
	容器 NO.				
	（試料＋容器）質量 m_a	g			
	（炉乾燥試料＋容器）質量 m_b	g			
	容器質量 m_c	g			
	w	%			
	平均値 w	%			
平均値	含水比 w	%			
	湿潤密度 ρ_t	g/cm³			
	乾燥密度 ρ_d	g/cm³			

特記事項

$$w=\frac{m_a-m_b}{m_b-m_c}\times 100$$

（社）地盤工学会規格準用